【評価シート】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の項目 | 評価 | 評価基準 |
| 関心・意欲・態度・顔を見て・日本語を使わない　で・適切な声量で | ◎ | 相手の目を見て，相手に聞こえる十分な声量で，日本語を使わず，できるだけ詳しく話そうとする態度がある。 |
| ○ | 相手の目を見て，相手に聞こえる十分な声量で，日本語を使わず話そうとする態度がある。 |
| ・ | アイコンタクトがなく，声が小さい。既習の英語表現について日本語を使ってしまう。 |
| 内容・自己紹介・日本のよさ | A | 自己紹介をしたり,相手に名前や出身を尋ねたりしている。日本のよさについて，何があるか,自分はどう思うかなどを詳しく，具体的に説明している。 |
| B | 自己紹介をしたり,相手に名前や出身を尋ねたりしている。日本のよさについて，何があるか,自分はどう思うかなどを概ね説明している。 |
| C | 自己紹介をしたり,相手に名前や出身を尋ねたりすることや日本のよさについて説明することが不十分である。 |
| 正確さ・文法・語彙・発音 | A | 適切な発音で，文構造への意識もあり，英語を全て正しく使っている。 |
| B | 文構造への意識がやや薄い（単語で答えることがある）が，英語を概ね正しく使っている。 |
| C | 重大なまちがいが多く，何を伝えたいのかわからない。相手の発話に合わないことを答えている。または，文構造への意識がなく，単語の羅列のみで伝えようとしている。 |
| なめらかさ・以下の対話方略を適切に用いて　・あいさつ　・繰り返し　・一言感想　・確認の言葉　・さらに質問 | A | Hello.などのはじめのあいさつ,相手の発話内容の繰り返し, That’s nice.などの一言感想， Excuse me? One more time, please.と不明な点を確かめる問いかけ，相手の発話内容に関わった質問など，全ての対話方略をいつも適切に使って，対話を初めから終わりまでスムーズに続けている。 |
| B | 全てではないが，上記のうちいくつかの対話方略を使って，対話を概ねスムーズに続けている。 |
| C | 対話中長い沈黙が多くある，または，対話方略をほとんど使わず最後まで対話が続かない，または，自分ばかりが話す/相手の話を黙って聞くばかりでコミュニケーションが取れていない。 |

MEMO　（児童の発話について，必要に応じてメモをとる。）

|  |  |
| --- | --- |
| 態度 |  |
| 正確さ |  |
| なめらかさ |  |
| 内容 |  |

総合評価

A・B・C

６年（　）組（　）番　名前（　　　　　　　　　）

【スコアリングシート】あなたの今日のコミュニケーションは･･･

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の項目 | 評価 | 先生からのアドバイス（これからの学習で意識するとよいこと） |
| 態度・顔を見て・日本語を使わな　いで・適切な声量で | ◎ | 相手に伝えようという意識をもって，自分の気持ちや考えについてより詳しく伝えようとすることができています。これからもこの調子でがんばりましょう。 |
| ○ | 相手に伝えようという意識をもって，自分の気持ちや考えを伝えようとすることができています。さらに，普段の活動の中で，伝えたい内容についてより詳しく話すことを意識するとよいでしょう。 |
| ・ | 相手に伝えようという意識はあるものの，時々声が小さく聞き取りにくいことがありました。普段の活動の中で，相手の目を見て話すことや，相手に伝わる十分な声の大きさで話すことなどを意識するとよいでしょう。 |
| 内容・自己紹介・日本のよさ | A | 自己紹介をしたり，相手に名前や出身を聞いたりすることができています。また，日本のよさについて，何があるか自分はどう思うかなど，具体的に説明できています。この調子でがんばりましょう。 |
| B | 自己紹介をしたり，相手に名前や出身を聞いたりすることができています。また，日本のよさについて説明できています。今後は，自分からより詳しく話すことを意識すると，さらに詳しく伝えることができるようになるでしょう。 |
| C | 自己紹介をしたり，相手に名前や出身を聞いたりすることや日本のよさについて説明することが十分できていたとは言えません。今後は，いろいろなことに興味をもち，相手に何を伝えたいのかをはっきりさせて，対話をするとよいでしょう。 |
| 文で・習った英語で・文で・英語らしい発音　で | A | これまでに学習した英語表現を使って，適切な発音で，文で話すことができています。これからもこの調子でがんばりましょう。 |
| B | これまでに学習した英語表現を使って話すことができていますが，時々単語だけで答えたり，やや英語らしくはない発音で答えたりしています。普段の活動の中で，尋ねられたことに文で答えようと意識したり，分からない言い方を先生に聞いたりして確かめたりするとよいでしょう。 |
| C | 単語ばかりで伝えたり，伝わりづらい発音で話したりしています。普段の活動の中で，先生や友達の話す英語をよく聞いたり，文で話そうと意識したり，できるだけ英語で言えるよう，分からない英語表現を先生に聞いて確かめたりするとよいでしょう。 |
| 楽しく続く会話・対話を続けるた　めの英語表現を　使って　・あいさつ　・繰り返し　・一言感想　・確認の言葉　・さらに質問 | A | はじめのあいさつ，繰り返し，一言感想，確認の言葉，関わった質問など，これまでに学習した「対話を続けるための英語表現」を状況に合わせて使いながら，対話をスムーズに続けたり，話題を広げたり深めたりすることができています。この調子でがんばりましょう。 |
| B | はじめのあいさつ，繰り返し，一言感想，確認の言葉など，これまでに学習した「対話を続けるための英語表現」を使って，対話を続けることができています。さらに，普段の活動の中で，相手の話した内容に関わる質問をすることを心がけると，さらに詳しく話せるようになりますよ。 |
| C | はじめのあいさつ，繰り返し，一言感想，確認の言葉など，これまでに学習した「対話を続けるための英語表現」が，まだすぐに出てこないことがあります。または，自分ばかりが一方的に話したり，相手の話をだまって聞いたりしているなど，相手意識が十分でないようです。普段の活動の中で，「対話を続けるための英語表現」を使っているか，話した後に振り返るようにするとよいでしょう。 |

６年前期

６年（　）組（　）番　名前（　　　　　　　　　）